

ねん がつ にち
2022年8月21日

ねんかんだい しゅじつ
年間第21主日

きくち いさおだい しきょう
菊地 功大司教 メッセージ

パウロ 6 世が第二バチカン公会議閉幕から 10 年となる 1975 年、大聖年に発表された使徒的勧告「福音宣教」は、現代社会にあつて福音に生き、福音をあかししようとするわたしたちにとって、今でも重要な道しるべとなっています。

教会が福音を告げしらせる必要性を、教皇パウロ 6 世は、「教会も目の前に、福音を必要とし、それを受ける権利を持っている無数の人々を見えています。なぜなら、『神は、すべての人が救われて真理を知るようになることを望んでおられる』からです」(57) と記しています。

その上で教皇は、「たとえわたしたちが福音をのべ伝えなくても、人間は神のあわれみによって、何らかの方法で救われる可能性があります (80)」とまで記しています。

「キリストの苦しみと死は、いかにキリストの人性が、すべての人の救いを望まれる神の愛の自由で完全な道具であるかを示して」といふと、カテキズムの要約に記されています (119)。

神はすべての人が救われるのを望まれているのは確実であり、ご自分が賜物として与えられたすべてのいのちを愛おしく思われる神は、その救いがすべての人におよぶことを望まれています。

だからといって、わたしたちがなにもしないで、それどころか自分勝手に生きていたのであれば、果たしてそこに救いはあるのだろうか、今日のルカ福音は問いかけています。

イエスは、「救われる者は少ないのでしょうか」という問いに、直接には答えていません。なぜならば、救われるはずの者は、すべての人だからです。しかしその「すべて」

を、「少ない」^{すくもの}者とするのは、神の側^{かみ がわ}ではなくて人間の側^{にんげん がわ}の勝手^{かって}であることを、「狭い戸口^{せま とぐち}から入るように努めなさい」というイエスの言葉^{ことば}が示唆^{し さ}しています。それに続く話^{つづ はなし}で常に目覚めて準備^{め ぎ じゅん び}をしている必要性^{ひつようせい}が語^{かた}られていますが、ここで重要な^{じゅうよう}のは、救われるはずのわたしたちが、いかにしてそれを「少ない者^{すくもの}」としないように、常に努力^{つね どりょく}をしているのかどうかであります。

先ほどの「福音宣教^{ふくいんせんきょう}」におけるパウロ6世^{せい}の言葉^{ことば}には、続き^{つづ}があります。

「しかし、もしわたしたちが、怠り^{おこた}や恐れ^{おそ}、また恥^{はじ}あるいは間違^{まちが}った説^{せつ}などによって、福音^{ふくいん}を述べることを怠^{おこた}るならば、果たしてわたしたちは救われるでしょうか (80)」

この世^{せい}における狭い戸口^{せま とぐち}は、わたしたちが福音^{ふくいん}の証^{あか}し人^{びと}となることを躊躇^{ちゅうちよ}させるような、様々な誘惑^{さまざま ゆうわく}のなせる^{おこた}ところ^{おこた}であります。福音^{ふくいん}を告^つげ知^しらせることへの怠^{おこた}り、それによつてどういう反応^{はんのう}があるのか見通^{みとお}せない不安^{ふあん}による恐れ^{おそ}、社会^{しゃかい}全般^{ぜんぱん}を支配^{しはい}する価値観^{か ち かん}の中で、それとは異なる価値観^{こと か ち かん}を生きる事^いへの恥^はずかしさ、真理^{しんり}とかけ離れた説^{はな}による誘惑^{せつ}。こちらにこそ真理^{しんり}がある、こちらこそ正しい道^{ただ みち}だという主張^{しゅちよう}には、時^{とき}としてわたしたちを惑^{まど}わせ、イエスの福音^{ふくいん}から引き離^ひす誘惑^{はな ゆうわく}の力^{ちから}が潜^{ひそ}んでいます。

パウロ6世^{せい}の「福音宣教^{ふくいんせんきょう}」の続き^{つづ}には、教皇^{きょうこう}の願^{ねが}いがこう記^{しる}されています。

「願^{ねが}わくば、現代^{げんだい}の人々^{ひとびと}が、悲^{かな}しみに沈^{しず}んだ元氣^{げん き}のない福音^{ふくいん}宣^{せん}教^{きょう}者^{しゃ}、忍^{にん}耐^{たい}を欠^かき不安^{ふあん}に駆^かられている福音^{ふくいん}宣^{せん}教^{きょう}者^{しゃ}からではなく、すでにキリストの喜^{よろこ}びを受け取^うり、その熱意^{ねつ い}によって生活^{せいかつ}があかあかと輝^{かがや}いている福音^{ふくいん}宣^{せん}教^{きょう}者^{しゃ}、神^{かみ}の国^{くに}がのべ伝^{つた}えられ、教会^{きょうかい}が世界^{せ かい}のただ中^{なか}に建設^{けんせつ}されるために喜^{よろこ}んでいのちをささげる福音^{ふくいん}宣^{せん}教^{きょう}者^{しゃ}から福音^{ふくいん}を受け取^うりますように」

イエスに従^{したが}うと決^きめたわたしたち一人^{ひと}ひとりが、その福音^{ふくいん}宣^{せん}教^{きょう}者^{しゃ}です。